

地域開放スペースの活用について

1 基本的な活用の方向性について

- 集客イベント及び小規模な会合など多目的に使えるホール
- 地域住民が気軽にスポーツなどを楽しめる体育施設

舞台等の必要最低限の設備以外は、体育館としての機能を活かすこととして、広く安佐北区民が利用できる施設とする。

2 WAPセンター（体育館）の活用について（案）

必要な対応・設備改修	対応
冷暖房設備	冷暖房対応とする。
体育館用備品倉庫 （パイプ椅子等の収納スペースとして想定）	体育館用備品倉庫を利用する。
防音対応	昨年 10 月に実施された消防音楽隊の演奏時には苦情はなかったこと、また、神楽を想定した太鼓での騒音テストを実施し、影響がなかったことを踏まえ、防音対策は不要と判断する。
舞台	多様な利用を想定し、仮設の舞台とする。（備品）
スピーカー等の音響設備	仮設の舞台に合わせ、壁付スピーカーではなく仮設スピーカーとする。（備品）

仮設ステージのイメージ



仮設スピーカーのイメージ



3 治療室等の活用について

○ 過去全5回の協議会では、主に以下の活用方法が提案された。

- ・ 会議室 ・ 展示ギャラリー及び郷土資料室 ・ 事務所
- ・ ホール機能用備品倉庫 ・ ホール利用者控室

これらを、多様な活用が可能なフリースペースとして、治療室等の活用案を示す。

